

令和元年第11回教育委員会会議録

日 時	令和元年10月30日（水） 開会13：30 閉会15：20
場 所	教育長室
出席委員	教育長 佐々木 智 委員 佐々木 義朗 委員 荒井 由紀恵 委員 橋場 正人 委員 吉村 恭子
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 澤田 徹 教育部次長 千田 義彦 教育部学校指導室長 小松 義幸 企画総務課長 伊藤 樹美 主幹(新設校建設担当) 山田 浩之 学校教育課長 高橋 裕輔 生涯学習課長 小野寺 康広 文化施設課長 倉島 毅 学校指導課長 大西 智彦
書 記	企画総務課総務係主任 染野 裕希子
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

## 1 第11回教育委員会会議付議事件及び結果表

令和元年10月30日（水） 13：30 開会

15：20 閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	令和元年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について	原案可決
報告第1号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果について	報告済
報告第2号	平成30年度千歳市学校教育基本計画の総合評価結果について	報告済
報告第3号	令和元年度ハイパーQU検査（6月実施）の結果について	報告済
報告第4号	北陽小学校分離新設校の校名アンケート調査結果について	報告済
報告第5号	令和元年度千歳市民文化表彰受賞者について	報告済
報告第6号	令和元年度千歳市立図書館蔵書点検結果における不明本状況について	報告済

## 2 議題及び会議の概要

教育長	<p>それでは、令和元年第11回教育委員会会議を開催いたします。 日程2 会議録の承認をお願いいたします。</p>
企画総務課長	<p>令和元年9月12日に開催されました令和元年第10回教育委員会会議は、議案が1件、報告が1件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 令和元年千歳市議会第3回定例会教育行政報告について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>また、報告につきましては、報告第1号 令和元年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業（報告）について、報告済みとさせていただいております。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
教育長	<p>それでは、日程3 教育長の報告に入ります。</p> <p>報告をさせていただきますが、教育長職務代理者についてでございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項において、教育長職務代理者は教育長があらかじめ指名することとなっております。先日、このたびの教育長就任にあたり、引き続き、佐々木委員をお願いをいたしまして、ご承諾をいただきましたので、ここでご報告いたします。</p> <p>続きまして、10月の定例校長会の指示事項について、資料がございますので、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>（資料に沿って、次の内容について説明）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハイパーQ U検査（6月実施分）の結果分析の活用について</li> <li>2. 学校改善プランの確実な実行について</li> <li>3. 学習規律の徹底100%・指導の立ち行かない学級0の達成を</li> <li>4. 留守番電話システムの導入事業について</li> <li>5. 教職員人事について</li> </ol> <p>以上で、教育長の報告を終わります。</p> <p>それでは、早速ですが、日程4 議案に入ります。</p> <p>議案第1号 令和元年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第1号、令和元年度一般会計補正予算について、ご説明申し上げます。</p>

	<p>提案理由であります、令和元年千歳市議会第4回定例会において、予算を補正するため、本案を提出するものでございます。</p> <p>補正項目は、歳入の寄附金に162万5千円を追加し、歳出の積立金に162万5千円を追加するものでございます。</p> <p>補正の理由につきましては、寄附採納があったことから、奨学基金に充当するため関係する歳入及び歳出予算を補正するものでございます。</p> <p>補正内容であります、令和元年8月6日から10月17日までに寄附採納がありました70件、162万5千円を寄附金、奨学基金として歳入予算の増額補正を行い、増額補正を行います寄附金額162万5千円の全額を奨学基金積立金として歳出予算の増額補正を行うものでございます。</p> <p>参考として奨学基金への寄附採納の状況を年度毎に表示しており、第4回定例会補正後の基金残高は、1億1万2,642円となります。</p> <p>以上、提案内容についてご説明申し上げます。</p> <p>ご審議の程宜しくお願いいたします。</p>
教育長	<p>ただいま説明がありましたけれども、ご質問等ございましたら、お願いします。この件については、よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>ありがとうございます。それでは、続きまして、日程5 報告でありますけれども、まず、報告第1号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>報告第1号、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果についてご報告申し上げます。</p> <p>資料をご覧ください。令和元年度の教育委員会における事務の点検・評価についてでございますけれども、1の根拠法令といたしましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項及び第2項の規定に基づく、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施結果について報告するものであります。</p> <p>2の点検・評価の方法は、千歳市が既に実施している事務事業評価及び外部評価である市民行政アセスを活用し、千歳市教育委員会における事務の点検・評価を実施しているところでございます。</p> <p>3の今年度の評価結果でございます。事務事業評価は、市の第6期総合計画の総括作業と連動を図り、自主事業41、施設管理事業11、経常的事務22、ハード事業8の全82事業を対象として評価を実施しており、</p>

現状のまま継続が68事業、見直して継続が12事業、その他として、庁舎管理移管が1件、完了が非構造部材耐震化でございますけれども、1件ございました。

次に、市民行政アセスでございます。①、②にございます2施策について評価を実施しております。

1点目の教育相談・指導の充実につきましては、実施内容の方向性は拡充、実施コストの方向性は維持となっており、市民評価会議の意見としましては、「把握したいじめの認知件数をどの様に評価し活用するのか、また、いじめが継続されている児童・生徒がいるかなど、引き続き精査する必要がある。」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、施策の継続に不可欠な専門職の確保については、中長期的な展望を持った取組が必要である。」などの意見が出されています。

2点目の文化活動の推進につきましては、施策内容・実施コストの方向性ともに維持となっており、市民評価会議の意見としましては、「文化表彰については、選考上のルールに居住年数が設けられているが、著名な功績を挙げた市民や千歳市に縁のある者も含められるようにしてはいかかか。」、「コンテストで優秀な成績を遂げた生徒も表彰されているが、生徒を指導した指導者にもスポットを当ててほしい。」などの意見が出されています。

また、本施策の成果指標は、市民全体の意識を判断材用とするため、5年毎に実施されております「市民まちづくりアンケート」の調査項目「芸術文化活動の促進」で「満足・やや満足・普通」と回答した人の割合を採用しておりますが、市民評価会議から、成果指標は、施策の進捗状況を確認するため、毎年度推移がわかるものとすべきとの意見がございまして、施策評価を所管します企画課では、他の施策でも同様の事例がありますことから、市全体としての令和3年度からの次期総合計画の施策評価では毎年度の推移が把握できる数値に見直す方向で進めていることから、本施策の成果指標においても「教育委員会が支援、実施した文化イベント数」とするなど、毎年度把握できる数値の採用を検討することとしております。

来年度におきましても自己評価である事務事業評価と外部評価である市民行政アセスの2つの手法によりまして、改善見直しにつなげていきたいと考えております。

なお、各事務事業及び市民行政アセスの評価につきましては、報告第1号別冊の「事務事業評価結果一覧」と「市民行政アセス報告書」を参照願います。

報告第1号の説明は、以上でございます。

教育長	ただいまの報告について、説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。
荒井委員	文化活動の推進についての意見として、「優秀な成績を遂げた生徒も表彰されているが、生徒を育成した指導者にも」というのがありますが、このような意見は、今後、内容へどのように生かされるのでしょうか。ここで述べられただけで、市民評価会議の方に文化団体連絡協議会のコメントはお伝えされるのでしょうか。
企画総務課長	市民評価会議については、今のところは意見として承ったということで、今後、検討という形になります。
荒井委員	市民評価会議の委員の方には承るだけで、お伝えはされないのですか。
企画総務課長	市民評価会議の説明の中では、これらの意見のやり取りがされておりますので、市民アセスの委員と所管課のやり取りの中で出た意見ということで、ここに取り上げられているという形です。
荒井委員	わかりました。
佐々木委員	市民評価会議の中で出た意見を受けて、この場の教育委員会での意見としては、指導者も評価された方が良いとしたほうが良いのかな。
荒井委員	生徒だけではなく、育成した指導者にも、というのは、おそらく東千歳中学校の先生のことをおっしゃっているのかと思うのですが、もう、長年あの先生が受賞者を出して、育成しているんですね。
教育部長	昨年、同じように、美術をやっていた方が文化表彰を受けたのですが、その方の経歴が、ずっと学校で美術を教えていたということで、その人の学校での経歴を評価すべきかどうかというのは、結構意見が割れたというか、職務として、美術を教えていたわけで、それを美術の普及発展に、ということで、とらえるかどうかということですね。ですから授業以外で子どもたちに絵を教えていたとか、そういうのが顕著であれば、対象となりえるのかなとは思いますが、この場合も今、例として挙げた東千歳中学校の先生を、美術クラブなど、学校活動の一環として教えているとすれば、それは少しどうなのかなというところはあると思います。

教育長	<p>文化表彰では、いろいろな賞を取った子はそれをもって「顕著な」ということで「奨励賞」、長年いろんな文化に貢献をしていただいた方は「文化賞」という分けて、カテゴリーを2つに分けているので、今、例に挙げた先生が表彰の対象となる場合は、今すぐではなくて、後者の、長年の功績をどうやって判断するかという方に、挙がるかどうかというものだと思います。</p>
教育部長	<p>功労表彰で言えば、例えば、議員を12年務めれば表彰対象になるなどあるのですが、それも職務として務めているので、その辺のとらえをどうするかというところが、少し難しい判断になるのかなと思います。</p>
教育長	<p>ほかにありませんか。 それでは、報告第1号につきましては、報告済みとしてよろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済み）</p>
教育長	<p>はい、それでは報告済みといたします。 次は、報告第2号です。平成30年度千歳市学校教育基本計画の総合評価結果について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>報告第2号 平成30年度千歳市学校教育基本計画の総合評価結果についてご報告いたします。</p> <p>千歳市学校教育基本計画は、平成26年度から令和2年度までの7か年の計画を策定したものであり、計画の推進にあたっては、PDCAサイクルの考え方にに基づき、毎年度、取組の進捗状況を把握し、点検・評価を行うことにより、改善に努め、計画の実行性を高めることとしております。</p> <p>本日は、本計画に掲げた「主な取組」について、平成30年度に実施した教育委員会と各学校の取組状況を評価した結果、各種調査結果をもとに「目標指標」を算出したものを総合的に判断し、30の施策項目ごとに総合評価を行ったのでご報告を申し上げます。</p> <p>報告第2号別冊としまして、資料をお配りしておりますけれども、併せてご覧ください。</p> <p>はじめに、1の「主な取組」の評価結果でありますけれども、別紙2に、学校と教育委員会が実施した主な取り組みの評価結果一覧がございます。</p> <p>学校の実施した取組では、※1にあります評価基準A B C Dに基づき、※2の学校及び担当課で評価した平均値の算出方法によりまして、平均値を出して評価をしております。</p>

前年度と比較しまして評価が上がった取り組みが「28-1 健康指導の充実」の1件ございまして、評価が下がった取組はございませんでした。

前年度と評価が同様だった取組は80件となっております。

次に、教育委員会の各担当課が自己評価をした結果を前年度と比較したものが(2)になりますけれども、前年度と同様、すべての項目50件、すべてがA評価となっております。

このことから、各学校及び教育委員会とも評価が下がった取組は0件となっており、着実に取組が進んでいる結果となっております。

次に、2「目標指標」の結果についてご説明申し上げます。

別紙3が目標指標の調査結果一覧となっております。

「目標指標」では、小中学校合わせて145の指標を掲げており、目標値を達成した指標は、82件、56.6%となっております。

前年度を下回った指標は14件ですけれども、前年度より上回った指標は35件あり、さらに目標値を達成した指標が、前年度より21件増えていることから、目標達成に向けて着実に取組が進んでいる結果となっております。

また、全国調査等で質問事項が変更となり、比較できない指標となったものが、昨年度と同様3件ございますが、3件については、全国学力・学習状況調査での質問項目が無くなったものでございまして、このことについて、引き続き、新たな指標の設定について今後検討してまいります。

また、2年連続で前年を下回った指標が、3件ございました。

2年連続で前年度を下回った指標、3件のうちの1件目ですけれども、2認め合い高め合う学年・学級経営の推進の目標指標の4点目、「学習規律の維持を徹底している学校の割合」というのがございまして、小学校では下降傾向にありますけれども、総合評価の今後の方針で、学習規律の徹底については、小中9年間の積み上げが大切であることから、小中連携、一貫教育の推進においても重点として取り組むこととしており、今年度の教育委員会の重点取組事項の1つともしておりますので、改めて取り組んでいきたいという方向でございます。

次に8家庭の教育力の向上の目標指標3点目、「学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動によく参加している、参加している」と回答した学校の割合が、中学校で下降傾向にありますけれども、今後、学校運営協議会の設置をしていく中で、学校のニーズにより対応できる学校支援ボランティアの仕組みを構築できるように学校と教育委員会の体制を整えることとしております。ちなみに小学校の今年度の調査結果は100%となっております。

3件目は、「26体力・運動能力の向上」の目標指標の1点目、「体力合



	<p>計点の総合評価が、5段階のうちABCの児童の割合」が、中学校2年女子について下降傾向にあります。小中ともに全体的に数値が高まっております。今後も、教育委員会が行っている新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業の協力校の成果を各学校と共有し、各学校が具体的な工夫改善を重ねることで、児童生徒の体力・運動能力の向上を図るとしてまいります。</p> <p>3の「総合評価の達成度」についてであります。教育委員会と学校の評価を点数化しその平均点から判定をしております。</p> <p>主な取組が全てA評価で達成度もAであった施策が30件中25件、全体の83.3%となっております。また、前年度と比較して達成度が上回った施策は1件で、下回った施策はなかったことから、目標達成に向けて着実に取組が進んでいる結果となっております。</p> <p>前年度より上回った施策項目は、施策項目28の「健康教育の推進」となっており、前年度から評価の上がった項目「健康教育の推進」についての考察につきましては、市教委の評価は変わらないが、主な取組①において、各学校の評価がBからAとなったため、達成度もAとなったということになっております。</p> <p>今後も、評価結果を改善につなげるように、引き続き取組を進めてまいります。</p> <p>以上、平成30年度の千歳市学校教育基本計画の総合評価結果についての説明でございました。</p>
教育長	<p>ただいまの説明に対して、ご質問等がありますでしょうか。</p>
吉村委員	<p>学校図書館司書の配置校数及び人数が、昨年2.7校に1人だったのが、2校に1人となり、今後の目標も2校に1人ということですが、2校に1人という司書の方は、どういう立場で動いているのですか。</p>
教育部長	<p>2校に1人ということで、週に2日行く学校と3日行く学校と、学校規模でわかれています。</p>
吉村委員	<p>常駐しているところはないのですか。</p>
教育部長	<p>担当の学校は決まっておりますが、掛け持ちですので無いです。</p>
吉村委員	<p>隣の恵庭市は、全部の学校に司書を配置するなど、すごく図書に関して力を入れて読書活動をすごくやっていて、やはり司書がいるかないかで、図書室のアレンジから、子どもたちが図書室に集まりたくなるような、</p>

	<p>司書さんのパーソナリティにもよるとは思うのですが、図書室に子どもたちが集まると本を借りていこうということになると思うのです。</p> <p>やはり、小学校から中学校では、特にゲームをする子どもたちが多いので、本をもっと読んでもらいたい。いろいろな仕事の関係でほかの市を回っていると、学校が図書館から希望の本を取り寄せてということを行ったり、恵庭は完全に図書館と学校が連携しているのでやっていますが、そういうのが進んでいるところでは、図書が充実していますって、学校の先生、校長が自らそうやって言う都市もあるのですね。</p> <p>その辺り、もっと図書を読ませたいなという思いはあります。朝読書についても、ずいぶん何年も前から言われていますが、あれも、ただ朝10分とか、本を読めよというので終わっている部分も多いので、もう少し、読書を進めたいという、そんな思いはあります。以上です。</p>
教育長	ほかにありますか。
企画総務課長	今のお話は、文化施設課の方に伝えておきます。
吉村委員	やはり司書教員というのは、学校に常駐しているのが一番良いので、常に先生方とコミュニケーションを取りながら、授業の中で本を使ってくださいというふうに、能力のある司書教員はあえてそうやって、アピールをして、こんな本を入れましたから、授業でどんどん使ってくださいという状況になるのですが、今、2日に1回で、どういう取組をしているかは、わかりませんが。
企画総務課長	毎月、司書の皆さんから、そういう各学校の取組状況などの報告は受けています。
吉村委員	はい、わかりました。
荒井委員	<p>小学校の方が、中学より授業での利用率がおそらく高いと思うのですが、司書さんがいる日数は、小学校も中学校も同じですよ。</p> <p>小学生の方がきっと、本選びとか、指導やアドバイスをもらったりとか、司書さんの活用をされているのかなと思うのですが、中学校では、生徒自体が図書館に足を運ばないので、せっかく司書さんが中学校の図書室にいらっしゃっても、あまり利用されないというか、実際のところ、どうなのでしょう。直接、司書さんからうかがったわけではないのですが。</p>

教育部長	実際に中学校の方が利用率は低いです。そこが課題なのですが、だからといって、引き上げるわけにもいかないというのもありまして。
荒井委員	小学校の日数を増やすとか、それは良くないということですか。
教育部長	そこはマンパワーなので、もっと人を増やせば良いのですがけれども、なかなかそこは、費用の関係もあって、難しいかなと思います。
佐々木委員	司書を増やせないのは、予算の関係なのか、それとも人が確保できないからなのか、どうでしたか。
教育部長	予算もありますし、現実には人の確保が難しいです。今、司書は13人だったかと思います。
佐々木委員	そういう状況でしたら、恵庭などは、人の確保も大変なのでしょうね。
吉村委員	ですから、教員の中に免許持っている者ももちろんいるので、授業時数の割り振りなどで、完全に、国語の教員で司書教諭の免許を持っている者もいますからね。
学校指導室長	学校規模に応じて、司書教諭を置かなければいけないことになっています。中学校は、小学校と比べると休み時間が短いので、なかなか借りに行く時間帯が無いということと、あとは、委員会活動が、中学生だと子どもたちもできるので、そういう部分もあるというのがあります。
吉村委員	ですから、うまく先生が委員会活動の方にも指導してくれると、生徒自らが動くようになって、いろんなアイデアが出てくると思います。
学校指導室長	他市町村を見ると、確かに恵庭はすごく充実しているのですが、管内でも他の市町村は、なかなかまだ司書教諭が配置されていない学校もあるので、それから比べると千歳は2校に1人配置されているので良い方だと思います。
吉村委員	恵庭は意識的に、高校2校も全部オンラインで繋げてやっています。ですから、自分たちで本を選んで、図書館から直接、学校に居ながら借りることができる。まちの中にも図書館みたいな、すぐその場で借りることができたり、いろいろな、何か本を置くところとかありますね。

	<p>たまたま聞いたのですが、砂川もまちの図書館がすごく充実していて、まちで希望したら読み聞かせなども全部やってくれるし、学校にもそういうので来てくれるそうです。</p>
教育長	<p>千歳市には図書館が一つしかなくて、キャパシティの問題もありまして、蔵書数も施設規模で限られてしまうというか。</p>
吉村委員	<p>ブックくんは、私も利用したのですが、すごく良いと思います。</p>
教育長	<p>そうですね。それを補完する形で、ブックくんを回しているのですけれど。</p>
吉村委員	<p>やはり、もっと子どもたちが本を読まないで学力も上がっていかないかなと思うところがあります。子どもたちは、ゲームの方に時間を使ってしまいますが、自分の中でも、やはり本を一番読んだ時期が中学から高校かなと思うので、中学生はもっと本を読んだら良いかなという思いです。</p>
教育長	<p>ほか、よろしいですか。 では、報告第2号ですけれども、報告済みとしてよろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済み）</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。 それでは続きまして、報告第3号 令和元年度ハイパーQU検査（6月実施）の結果について、説明をお願いします。</p>
学校指導課長	<p>令和元年度ハイパーQU検査（6月実施）の結果についてご報告いたします。資料ですが、お手元に冊子になっている別冊ものと、それからダイジェスト版というものを用意しております。資料の量が大変多いことから、お配りしていますA4両面印刷のダイジェスト版を主に、中心にしてご説明いたします。一部冊子の方を見ていただくこともありますので、ご参照ください。</p> <p>各学校においては、本検査による客観的なデータを活用し、日常の観察・指導・判断についての妥当性や、見落としを確認し、学級集団や児童生徒一人ひとりへのアプローチの改善を図ることになっております。</p> <p>学級内にルールが内在化し、児童生徒が主体的に生き生きと活動している満足型の集団である「親和的な学級集団」を目指し、「学習規律の徹底100%」「指導の立ち行かない学級0」を本年度の重点取組事項として</p>

位置付け、全市的に組織的な取組を推進しています。

表紙の目次をご覧ください。

本報告書ですが、「1 ハイパーQU検査の概要」「2 千歳市の結果」「3 各学校の結果」「4 結果の分析」の4項目からなっております。各学級の結果も含まれておりますので、情報の取り扱いには十分にお気をつけください。

それでは、ダイジェスト版をご覧ください。「学校生活意欲」について、説明します。

左上の青の棒グラフは、小学校の学校生活意欲総合点を、全国を100とした時の比較を示しています。どの学年においても、全国を超えていることがわかります。右の折れ線グラフになりますが、同一集団における学校生活意欲総合点の経年変化になります。学年が上がるにつれて向上する傾向が見られますが、本年度は、全国平均は上回っているものの、若干下がっている状況が読み取れるかと思えます。これは、今年下がったという意味合いに見えるのですが、実は、全国の基準を本年度から検査側で変更しました。その結果、ちょっと厳しくなったというか、指標を上げたため、相対的には下降しているのですが、旧基準で比較すると例年の傾向と大きく変化しておりません。ということをご理解いただければと思います。来年以降、ここがスタート地点になって、見ていくような形がよろしいのかなというふうに思っております。

続いて、この学校生活意欲総合点は、「学級の雰囲気」、「友達関係」、「学習意欲」の3領域の満足度の総合点となっております。ダイジェスト版では、一つ下の、「学習意欲」について記載しています。小学校の学習意欲の特徴として、一点目は、学年による差が大きいことが見受けられます。3年生と6年生の学習意欲が相対的に低い数値となっております。二つ目の特徴としては、同一集団の推移を見ると、どの集団も4年生で向上が見られております。隣の折れ線グラフになりますが、点線で囲ってある部分です。同一集団で見ると、3年生から4年生に上がる時にぐっと上がるという傾向が例年見られております。このことから、3年生から4年生にかけて、学習意欲の向上と定着に向けた指導が重要と考えます。ダイジェスト版のグラフからは読み取りづらい情報ですが、別冊をご覧ください。多くの学校で3年生から4年生にかけて向上していることが読み取れます。

続いてダイジェスト版の中段以降、中学校の結果になります。グラフの構成は小学校と同じです。

全てのグラフにおいて全国を超えていることがわかります。学校生活意欲総合点、学習意欲の二つの折れ線グラフともに、新入学後の6月にピー

クを迎え、その後、低下している傾向にあります。

新入学時の新鮮な気持ちや、学習内容の難易度が上がることや思春期における対人関係の悩みなどから、徐々に薄れ、自己肯定感の低下につながっていることが予想されます。

中学校においては、1年生後半から見えてくる変化を見落とさず、成功体験をはじめ、日常的にその生徒にあった声かけや指導が必要になってきます。

ダイジェスト版の裏面をご覧ください。中学校における進路意識になりますが、中1の11月から中2の6月にかけて大きく下降しております。早い時期から、計画的に進路指導を含めた「キャリア教育」を充実させることが求められます。進路意識の高揚を促し、家庭と連携して個々の生徒の状況を把握するなど、きめ細かな指導が必要です。

次のグラフは、学級満足度 学級集団の状態を学年ごとに示しています。

赤色の棒グラフが親和的な学級集団になります。小学校5年生の58%、中学校3年生の22%と学年によって相当の違いがあります。「親和的な集団」が子どもたちの健全な成長を支えることを踏まえて、全ての学級が親和的な集団となるよう各校において組織的に指導していくことが求められます。

続いて、最後のグラフをご覧ください。ソーシャルスキルでは、「配慮」「かかわり」という用語が出てきます。

「配慮」は、「友達の気持ちを考えながら話をしている」「何か失敗したときに『ごめんなさい』と言っている」「友達が話しているときは、最後まで聞いている」「友達との約束は守っている」「何かを頼む時、迷惑がかからないか考える」などの質問があります。

「かかわり」については「みんなと同じくらい、話をしている」「みんなのためになることを見つけて実行している」「ほかの人に左右されず、自分の考えで行動している」などの質問があります。

このソーシャルスキルについては、どの学年においても全国平均を超えています。また、学力との相関を見ても、全ての学年で、全国平均である70%を超えており、一斉指導の対応量は比較的しやすい状態にあるといえます。この、「A、B1、B2の合計が70%を上回り」とありますが、これは何を示しているかといいますと、別冊に解説を示すとおり、A群という学力テストの学力と今回のソーシャルスキルとの関係性ですが、両方とも良好な群を示しております。B1群は、学力は良いけれども生活面でちょっと課題がある子どもたち、B2群というのは、学力では課題はあるけれども生活面では良いと。この3つの群を合わせて70%以上になれ

	<p>ば、おおむね一斉指導が学級としてはし易い学級だというふうな考え方になります。80%以上であると指導がしやすい集団とされており、おおむねどの学年においても、指導がしやすい学級が多い状況といえます。</p> <p>別冊に各小学校のクロス集計、下段に各中学校のクロス集計を示した棒グラフがあります。これを見ますと、学校間の格差が見られることがわかります。各学校においてはこれらの結果をもとに、学級担任だけの対応ではなく、学校全体としての対応が求められます。</p> <p>ダイジェスト版にお戻りください。</p> <p>終わりになりますが、今後の課題、本調査結果を踏まえ、各校の校長に対しては、6月と11月の検査を検証機会ととらえ、計画的に検査を活用すること。自校の結果分析については、必ず全職員で共有し、親和的な学級の学級経営から学ぶことはもちろん、課題のある学級については、担任のパーソナリティに要因を求めるのではなく、学校全体で当該学級の児童生徒への働きかけを確認し、実践することを指示しています。</p> <p>また、本検査の活用促進を図り、児童生徒の指導や学級経営の充実に資することを目的に、昨年度より3か年かけて中学校区ごとに実践事例発表や講師を招聘した研修会を実施しています。本年度は、11月26日に、千歳中学校区・北斗中学校区を対象に開催しますが、対象の学校だけでなく、新採用者や転入者など、多くの教職員の積極的な参加を呼びかけているところです。</p> <p>主にダイジェスト版を用いて説明させていただきました。詳細につきましては、別冊資料をご覧ください。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
教育長	<p>報告第3号について、説明がありましたけれども、ご質問、ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。</p>
佐々木委員	<p>確かにこのクロス集計の結果を見ていると、各学校間で格差があるのですね。どういう分析になるのですか。その地域性もあるのですか。</p>
学校指導課長	<p>これは6月に実施した結果なので、4月から1か月、2か月経った時の学級の状況を示しているのですが、まだまだ学級には来たばかりなので、硬さが見られたり、ですとか、まだ担任の個性がある部分もあるのかもしれないですね。</p> <p>若干そういうところで、学校間の格差、同じ学校でも学年間の格差という傾向も見えているので、各学校の結果を掲載しておりますが、このあたりは全てのデータを学校にお渡ししておりますので、それを分析して、改</p>

<p>教育長</p>	<p>善を図るように指示しております。11月に2回目の検査がございますので、また、年明けにでも皆さんにこれらの関係性がどれくらい改善されたのかというところをご報告できるかなと思います。ただ現実には、かなり、不安を覚える部分もあるかとは思いますが、報告としては、学級が大変で指導が立ち行きませんというような状況は、聞いておりませんので、そのあたりは、このグラフを見ると少し不安はあるのですが、今は、そういう状況には無いというふうにご報告できます。</p> <p>あとはよろしいですか。</p> <p>それでは、報告第3号につきましては、報告済みということでよろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>一同了承（報告済み）</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第4号 北陽小学校分離新設校の校名アンケート調査結果について、説明をお願いします。</p>
<p>主幹(新設校建設担当)</p>	<p>私からは、報告第4号、北陽小学校分離新設校の校名アンケート調査結果について、北陽小学校分離校建設事業に係る分離新設校の校名選考のために実施しました、校名アンケート調査結果について、別冊のとおり報告いたします。</p> <p>報告第4号の別冊、北陽小学校分離新設校校名アンケート調査結果についてをご覧ください。はじめに、Ⅰ「調査対象」でございますが、「北陽小学校分離新設校通学区域の児童・保護者」と「北陽小学校分離新設校の通学区域の地域住民」を対象といたしました。Ⅱの「調査方法」は、北陽小学校や町内会・自治会にご協力をいただきました。Ⅲの「調査期間」につきましては8月下旬から9月30日までを提出期限としまして行いました。</p> <p>次に、「調査結果」でございますが、左側の表の一番右にあります合計欄をご覧ください。</p> <p>アンケートの対象は、小学校が534名、町内会・自治会が1,311世帯で、合計1,845枚を配布しました。</p> <p>回答は、表の右下になりますが405枚ございまして、全体の回答率は22%でしたが、小学校においては、51.1%もの回答がありました。校名の案は回答全体で74の案をいただきました。</p> <p>表の上段に戻りますが、校名の案は「みどり台小学校」が回答のあった中</p>



	<p>で最も多く285件で、右の円グラフになりますが全体の70.4%、続いて「みどり台北小学校」が10件で2.4%、続いて「未来小学校」、「新緑小学校」、「長都小学校」がそれぞれ5件で1.2%という結果になっております。</p> <p>続きまして、北陽小学校から回答がありました「主な命名理由」を掲載しております。一番回答数の多かった「みどり台小学校」の理由につきましては、「地名と同じで分かりやすい」、「みどり台に建設されるため」、「地名と同じとした」、「他の小学校も地名が多く、分かりやすく、覚えやすい」、「地名と同じで分かりやすく、北陽小学校と区別しやすい」といった理由がございまして、町内会・自治会分でも、北陽小学校と同様に地名と同じく分かり易いといった理由が多く挙げられております。町内会・自治会分の回答の中には、8つ目になりますが、『所在地の名称であり「みどり」という平仮名表記が柔軟な印象で初等教育にふさわしく、緑小学校と混同されにくいため。』といった回答もありました。』</p> <p>校名アンケート調査結果の報告につきましては以上となりますが、このアンケート結果を参考に、先日、地域の代表者で組織する校名選考会議を行い、校名の選考を行いました。</p> <p>会議では「みどり台小学校」を選考するとともに、選考理由についても整理をいたしました。後日、報告書のかたちで教育委員会に提出される予定です。</p> <p>なお、校名は、この報告を受けて、教育委員会で決定する流れとなります。</p> <p>私からは以上です。</p>
教育長	<p>ただいま説明がありましたが、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
佐々木委員	<p>学校の名前は、商標権などは無いのですか。関係ないですかね。民間でいろいろやるときは、そういうのは慎重に調べないといけないのですが、そういうのは大丈夫なのかなと思ひまして。</p> <p>例えば、私たちがやっている温泉で、「秘湯」という言葉がありますが、よく使いそうですよね。私たちの会では、その「秘湯」という言葉の権利を取っています。ですから、どこかが商品に「秘湯」を使うと、そこを言うことができるのです。旅行会社が「秘湯」という言葉を使うときは、今は、私たちの会に許可を取らないとできないようになっています。</p> <p>学校名は、そういうのは無いのかもしれないですが。</p>
吉村委員	<p>地名は、同じ名前が全国にあって、重なることがありますよね。確か、</p>

教育長	<p>高校でも新設校のときは、調べたことがあったと思います。 それでも、おそらく同じ学校名はあると思います。</p> <p>一応そのあたりは調べておいてください。 ほかは、よろしいでしょうか。 私から良いですか。この後の手続き的なものはどうなっているのか、説明をお願いできますか。</p>
主幹(新設校建設担当)	<p>まずは、議会の総務文教常任委員会の方に報告をいたしまして、次回の教育委員会会議の中で、再度、決定という流れで、諮らせていただきます。その後、3月に条例改正とする予定です。</p>
教育長	<p>ほかは、よろしいでしょうか。 それでは、報告第4号につきましては、報告済みということによろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済み）</p>
教育長	<p>ありがとうございます。それでは、報告済みといたします。 続きまして、報告第5号 令和元年度千歳市民文化表彰受賞者について、説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>それでは、報告第5号 令和元年度千歳市民文化表彰受賞者について、ご報告いたします。</p> <p>今年度の千歳市民文化表彰候補者の推薦につきましては、6月5日から7月31日まで公募を行ったところ、市民文化賞に3名、市民文化奨励賞に2名の推薦がありました。</p> <p>その後、9月13日開催の千歳市民文化表彰審査委員会に諮問し、答申の結果を踏まえ、市民文化賞として3名を受賞者に決定するとともに、市民文化奨励賞2名は表彰を見送りとしたものであります。</p> <p>はじめに、1の千歳市民文化賞でございます。</p> <p>この賞は、地道な文化活動を続け、千歳市の文化の向上及び振興に寄与し、かつ、貢献したと認められる個人又は団体が対象でございますが、今年度の受賞者は、1人目は鴨林三枝さん、対象部門は「芸術」のうちの「音楽」、2人目は北島裕子さん、対象部門は「芸術」のうちの「美術」、3人目は山下菊光さん、対象部門は「科学」のうちの「自然科学」でございます。</p>

	<p>受賞理由でございますが、1人目の鴨林さんは昭和63年から千歳カラオケ愛好会を創立し、現在は千歳歌謡文化連盟会長や千歳市文化団体連絡協議会副会長に就かれ、長きにわたり、歌謡文化であるカラオケを多くの市民に広めてこられるなど、本市の文化の振興と発展に寄与されたこととございます。</p> <p>また、2人目の北島さんは昭和53年の千歳美術協会創立時から同協会の会員となり、事務局次長や運営委員などとして、長きにわたり会の運営や美術活動の振興に尽力されるなど、本市の文化の振興と発展に寄与されたこととございます。</p> <p>3人目の山下さんは昭和36年から千歳アマチュア無線クラブの創立に関わり、同会の初代会長や顧問として、会の運営に尽力され、また、日本アマチュア無線連盟講師として技術の普及促進及び後進の育成活動を行うなど、本市の文化の振興と発展に寄与されたこととございます。</p> <p>今回受賞が決定された3名につきましては、11月1日、ホテルグランテラス千歳にて執り行われます「千歳市表彰贈呈式」において表彰されます。</p> <p>なお、千歳市民文化奨励賞について、でございますが、この賞は、文化活動に傾注し、これを奨励することにより今後も意欲的な活動が期待される個人又は団体を対象とし、これまで、全国レベルの大会において最高賞又はそれに次ぐ賞を受賞した方を対象に表彰をおこなっているところでありますが、今回推薦のあった2名につきましては、これに達していないと判断され、表彰が見送られたところであります。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
教育長	<p>ただいま説明がありましたけれども、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>それでは、報告第5号について、報告済みとしてよろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済み）</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第6号 令和元年度千歳市立図書館蔵書点検結果における不明本状況について、説明をお願いします。</p>
文化施設課長	<p>報告第6号 令和元年度千歳市立図書館蔵書点検結果における不明本状況について、ご説明いたします。</p> <p>「不明本」とは、市立図書館において毎年度実施している蔵書点検によ</p>

り、本来台帳にあるべき図書の存在が無断持出しなどにより、確認できない図書のことであります。

資料をご覧ください。

今年度の蔵書点検は、8月28日から9月5日までの期間に実施しており、この結果、表2「蔵書点検結果における不明本状況」にありますとおり、令和元年度は122冊、金額にして170,303円の不明本が確認され、前年度と比較して47冊の減、金額では、103,822円の減となっております。

この内訳であります、前年度と比較して増加している分野につきましては、冊数では、類目「総記」、「哲学」、「歴史」、「自然科学」、「産業」、「言語」の6類目で増加したものの、7類目では減少しており、特に「文学」では、26冊の減少となっており、金額では、類目「総記」、「哲学」、「歴史」、「産業」、「言語」が増加したものの、これら以外ではすべて減少となっております。

また、合計金額が減少した要因につきまして、5,000円を超える事典や図鑑などが85,773円減少したことによるものであります。

なお、平成30年度の「CD・DVD」の不明件数が、2件となっているものの、金額で0円となっている理由についてであります、この2件は、受贈により受け入れたCDであり、受入価格は0円となっておりますことから、金額が0円となっております。

令和元年度の不明本の内訳といたしましては、最も多かった類目は「雑誌」の15冊で、その内訳は月刊誌11冊、週刊誌3冊、季刊誌1冊となっており、次に「総記」、「技術」及び「文学」の13冊となっております。

次に、表3「過去5年間の不明本状況」ですが、令和元年度は、この5年間において、冊数・金額ともに一番少ない結果となっております。

表4は、主に事典や図鑑といった1万円以上の不明本の内訳を記載しており、前年度は4冊、金額で55,500円でありましたが、今年度につきましては該当がありませんでした。

次に、最下段の「5 不明本削減対策」についてであります、防犯ミラーの設置のほか、腕章をつけての館内巡回などの対策を継続して実施してきました。

左の段、① 防犯ミラーの設置、② 不明本リストの公表・掲示、③ 館内見回り時間の間隔短縮、④ 不明率の高い蔵書をカウンター近くへ移動、⑤ ブックカート及びバスケットの使用の周知・徹底、右の段に移りまして、⑥ ロッカー使用の周知、⑦ 「巡回中」の腕章をつけての館内巡回、⑧ 書架に貸出手続きを周知したシールの貼付、⑨ 職員による、利用者に対する声かけなどを実施してきました。

教育長	<p>今後の不明本削減対策といたしましては、不明本の状況が減少傾向にありますことから、これらの対策を継続するとともに、特に、今年度、不明の冊数が多かった「雑誌」につきましては、書架に貸出手続きを周知したシールの貼付、また、冊数が増えた「総記」については、職員が見渡しやすいカウンター近くの書架に移動する、といった対策を行うこととしております。</p> <p>以上、千歳市立図書館蔵書点検結果における不明本状況についての説明とさせていただきます。</p>
教育長	<p>ただいまの説明に対して、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
佐々木委員	<p>不明本は、だいぶ減りましたね。うちの図書館はこういう状況ですけど、ほかの図書館は、どのくらいの比率なのですか。</p>
文化施設課長	<p>不明本の他市の状況についてであります。蔵書冊数などそれぞれの図書館の規模による差がありますので、蔵書冊数に対する不明本冊数の割合ということで比較してみますと、今年度、千歳市は0.04%になります。北広島市では0.02%、恵庭市、石狩市は0.04%、隣の苫小牧市が0.06%と概ね同程度の割合で、江別市が0.11%とやや高い状況となっております。</p>
佐々木委員	<p>北広島の図書館も結構人気があると聞いています。</p> <p>今年、道外視察研修で武雄市の図書館に行ったのですが、あのような施設を視察すると、千歳でも何か頑張りたいなという、予算の問題もあるのでしょうか、そう思いますよね。これからの課題かもしれないですけど。</p>
教育長	<p>図書館のことについては、先ほどお話しした通りですが、いろいろな話が出ていることもありますので、どんな対応ができるのか、できないのか、ありますが、引き続き調査検討してまいりたいと思います。</p> <p>ほか、よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済み）</p>
教育長	<p>それでは、報告第6号につきましては、報告済みといたします。</p> <p>これをもちまして、本日の教育委員会会議を終了します。お疲れ様でした。</p>